



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	32-6480-1	版	3.00
発行日	2023/09/18	前発行日	2021/09/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> Scotch-Weld<sup>TM</sup> 一液加熱硬化型エポキシ接着剤 IW2190

#### 3M スtockナンバー

JS-3000-4871-2

7100297579

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

構造用接着剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

自己発熱性化学品： 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

皮膚感作性： 区分1

生殖細胞変異原性： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

**注意喚起語**

警告

**シンボル**

炎 感嘆符 健康有害性 環境

**ピクトグラム****危険有害性情報**

H252	大量の場合、自己発熱：火災のおそれ
H319	強い眼刺激
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

**注意書き****安全対策**

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P235	涼しいところに置くこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

**応急措置**

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。

**保管**

P410	日光から遮断すること。
P413	1kg以上の大量品は、以下の温度で保管すること。
P413A	5℃を越さない。

P405	施錠して保管すること。
P420A	別々に保管する。
P407A	隙間を開けて保管する。

**廃棄**

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

**その他の有害性**

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	25068-38-6	20 - 30
補強剤	営業秘密	20 - 30
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	10 - 20
酸化アルミニウム	1344-28-1	10 - 20
ジシアンジアミド	461-58-5	3 - 7
1, 6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	16096-31-4	< 5
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	営業秘密	< 3
ブロックイソシアネート	営業秘密	< 3

**4. 応急措置****応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

**皮膚に付着した場合**

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

**眼に入った場合**

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

**飲み込んだ場合**

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

**予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項  
適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：消火するために二酸化炭素又はドライケミカル消火器を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

アルデヒド  
一酸化炭素  
二酸化炭素  
塩化水素  
シアン化水素  
刺激性蒸気あるいはガス  
アンモニア  
窒素酸化物

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。指定された個人保護具を使用する。

## 保管

涼しいところに置き、日光から遮断すること。熱から離して保管する。5℃以下の温度で保管すること。積荷/パレット間に隙間をあけること。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。他の物質から離して保管すること。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m <sup>3</sup>	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入性分画):1mg/m <sup>3</sup>	A4:ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
不活性あるいは有害なダスト	1344-28-1	ISHL	TLV(計算値)(ダストとして)(8時間):0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入粒子):10 mg/m <sup>3</sup>	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入性粒子):3 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排

換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

### 呼吸用保護具

特に必要としない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	粘調
色	白色
臭い	エポキシ
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1.3 - 1.4 [詳細:参照基準:水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。

粘度/動粘度	100 Pa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

熱。

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

高せん断・高温時

火花ないし炎

### 混触危険物質

加速剤

アミン類

強酸

強塩基

強酸化性物質

### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

## ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

### 吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

### 皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

### 眼に入った場合

眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

### 飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

## その他健康影響情報

### 遺伝子毒性

遺伝子毒性・変異原性： 遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

### 追加情報

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
多官能エポキシ樹脂	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,000 mg/kg
多官能エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 500-5000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ジシアンジアミド	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
1,6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
1,6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 3,741 mg/kg
ブロックイソシアネート	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg



ブロックイソシアネート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ウサギ	軽度の刺激
多官能エポキシ樹脂	ウサギ	刺激物
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
ジシアンジアミド	ヒト及び 動物	わずかな刺激
1, 6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	ウサギ	刺激物
ブロックイソシアネート	ウサギ	わずかな刺激
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	ウサギ	刺激性なし

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ウサギ	中程度の刺激
多官能エポキシ樹脂	ウサギ	激しい刺激
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
ジシアンジアミド	専門家による判断	軽度の刺激
1, 6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	ウサギ	激しい刺激
ブロックイソシアネート	ウサギ	軽度の刺激
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	ウサギ	刺激性なし

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ヒト及び 動物	感作性あり
多官能エポキシ樹脂	モルモット	感作性あり
ジシアンジアミド	モルモット	区分に該当しない。
1, 6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	多種類の 動物種	感作性あり
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	ヒト及び 動物	区分に該当しない。

#### 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ヒト	区分に該当しない。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	In vivo	変異原性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
多官能エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
多官能エポキシ樹脂	In vivo	変異原性
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
ジシアンジアミド	In vitro	変異原性なし
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	In vitro	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	発がん性なし
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
ジシアンジアミド	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ジシアンジアミド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	44 日
ジシアンジアミド	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期

## 標的臓器

**特定標的臓器毒性、単回ばく露**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

**特定標的臓器毒性、反復ばく露**

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2年
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13週
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	聴覚系   心臓   内分泌系   造血器系   肝臓   眼   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28日
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ジシアンジアミド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,822 mg/kg/day	13週
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

**誤えん有害性**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

**12. 環境影響情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

**生態毒性****水生環境有害性 短期（急性）**

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

**水生環境有害性 長期（慢性）**

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	LC50	1.8 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>11 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.3 mg/l

ールA型エポキシ樹脂)						
補強剤	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アルミニウム	1344-28-1	魚	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	18 mg/l
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	バクテリア	実験	16 時間	EC50	>=10 mg/l
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	鯉	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	13 mg/l
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	4.2 mg/l
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.42 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3,177 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>3,200 mg/kg (乾燥重量)
1,6-ヘキサジオールジグリシジルエーテル	16096-31-4	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
1,6-ヘキサジオールジグリシジルエーテル	16096-31-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	30 mg/l
3-トリメトキ	営業秘密	該当なし	分類にデータ	該当なし	該当なし	該当なし

シシリルプロピルグリシジルエーテル			が利用できない、あるいは不足している。			
ブロックイソシアネート	営業秘密	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	EC50	29.4 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>30.2 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>39.8 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	5.9 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t <sub>1/2</sub> )	
補強剤	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	実験 生分解性	29 日	二酸化炭素の発生	≤10 CO <sub>2</sub> 発生量/理論CO <sub>2</sub> 発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	4.1 日 (t <sub>1/2</sub> )	OECD 111 pHに応じた加水分解
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	0 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 水生固有生分解性	14 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	0 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験

ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	61 日	二酸化炭素の発生	1.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 309 好氣的表層水生分解性シミュレーション試験
1, 6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	16096-31-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	47 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
1, 6-ヘキサンジオールジグリシジルエーテル	16096-31-4	推定値 加水分解		加水分解性半減期	6.87 日 (t 1/2)	
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ブロックイソシアネート	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	31 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シユツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
補強剤	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
多官能エポキシ樹脂	営業秘密	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.87	EPI suite <sup>™</sup>
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<=3.1	OECD305-生体濃縮度試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.52	OECD107 log Kow フラスコ振騰法

1, 6-ヘキサジオールジグリシジルエーテル	16096-31-4	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.9	
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ブロックイソシアネート	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.14	EC A.8 Partition Coefficient

**土壤中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意**

国連番号及び品名： 3088 自己発熱性物質（有機物）（固体）

輸送分類（IMO）：4.2 自然発火性物質

輸送分類（IATA）：4.2 自然発火性物質

容器等級：II

**国内規制がある場合の規制情報**

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達 基発第312号の3の別添1「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局長通達 基準第182号の2

地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号

消防法：指定可燃物（合成樹脂類、その他のもの）

船舶安全法、航空法：自己発熱性物質



海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

## 16. その他の情報

### 改訂情報

- セクション 1：製品用途 情報の追加.
- セクション 1：SAP Material Number 情報の追加.
- セクション 2：GHS分類 情報修正.
- セクション 2：注意書き - 保管 情報修正.
- セクション 3：成分表 情報修正.
- セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション 8：眼および顔面保護 情報修正.
- セクション 8：mg/m<sup>3</sup> 記号 情報の追加.
- セクション 8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション 8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション 8：保護具 - 吸入 情報の削除.
- セクション 8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション 8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報の削除.
- セクション 8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報の削除.
- セクション 8：呼吸保護情報 情報の追加.
- セクション 9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション 9：pH情報 情報修正.
- セクション 9：溶解性（水以外） 情報の追加.
- セクション 9：溶解性（水以外）のテキスト 情報の削除.
- セクション 10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション 11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11：発がん性の表 情報修正.
- セクション 11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正.
- セクション 11：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
- セクション 11：健康影響情報（皮膚） 情報修正.
- セクション 11：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 11：呼吸器感作性の表 情報修正.
- セクション 11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 11：皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 15：法規名 - 表 情報の削除.
- セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合

わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。